講演会

令和8年度　沖縄県こども虐待防止推進事業

DVと児童虐待の関係から考える



～見えないDVと届かないSOS～

家庭の中で起きるDV（配偶者やパートナーからの暴力）を、こどもが目の当たりにする「面前DV」は、こどもの心と体に深刻な影響を及ぼします。密接に繋がっているDVと児童虐待。決して特別な家庭だけの問題ではありません。問題が深刻になる前にできることはないのでしょうか。

虐待死事件などの取材を通して、家族やこどもを取り巻く問題を見つめてきた杉山春さんから、DVと児童虐待の関係を学び、こどもの命を守るために、今私たちにできることを考えます。



講師　杉山 春（ルポライター）

プロフィール

すぎやま はる。東京生まれ。ルポライター。児童虐待、家族問題、ひきこもり、自死などについて取材してきた。著書に『満州女塾』（新潮社）『ネグレクト　真奈ちゃんはなぜ死んだか』（小学館文庫　小学館ノンフィクション大賞受賞）『移民環流』（新潮社）『ルポ虐待：大阪二児置き去り死事件』（ちくま新書）『児童虐待から考える社会は家族に何を強いてきたか』（朝日新聞出版）など。神奈川県内の公営団地内で子どもの居場所を仲間と一緒に運営している。社会福祉士、一般社団法人てとてと代表理事。

2027.1.9（土）

10:00～12:00（開場9:30～）

【申込方法】

右のQRコードまたはお電話で
お申込みください。
電話　070-6591-7159
（おきなわCAPセンター）

ともかぜ振興会館 ホール

（那覇市金城3丁目5-3）

参加無料・事前予約制

定員200人（先着順）

【問合せ】NPO法人おきなわCAPセンター　070-6591-7159（平日10時～16時）

主催：沖縄県　共催：那覇市　事業委託：NPO法人おきなわCAPセンター

後援：沖縄県教育委員会、沖縄県社会福祉協議会